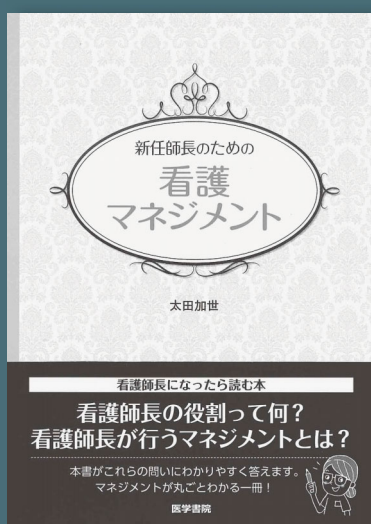


書評

新任師長のための
看護マネジメント

- 著 太田加世
- 定価 本体 2300 円＋税
- 発行 医学書院

評者

公益財団法人 脳血管研究所
美原記念病院 看護部長
高橋陽子

看護マネジメントの要である
看護師長への贈り物

看護マネジメントとは、最良の看護を患者や家族に提供するために、チームや組織、システムを動かし看護の成果を出すことである。その要となるのが看護師長（以下、師長）である。

師長は看護の質を左右する病棟管理の要として重要な存在であり、大きなプレッシャーを抱きながら日々過ごしている師長も少なくない。病棟運営や人間関係、他職種との連携調整など、師長に求められるものは大きい「師長として自信がない、どうしたらいいのかわからない」という言葉を時々耳にする。

マネジメントの全体像が理解できる

本書は、日々必死になって看護マネジメントをしている師長への贈り物と言える。著者は、多くの看護管理者とコーチングのクライアントをサポートしてきた実績から、新任師長がどのようなことで悩んでいるのかを把握している。その上で、「どのように解決すればよいのか」を具体的に分かりやすく説明しているため、本書を読むことで看護マネジメントの全体像が理解できる。

タイトルは「新任師長」と題されているが、主任、リーダーに相当する看護師が読んでも分かりやすく記されている。本書の構成を紹介すると、Ⅰ部は「マネジメントの基礎以前」、Ⅱ部は「マネジメントの基礎」、Ⅲ部は「リーダーシップの基礎」と3部で成り立っている。

Ⅰ部の「マネジメントの基礎以前」では、師長の役割と師長としてのあり方について書かれており、読みながら十数年前に師長として就任したときのことを思い出した。師長となったばかりの当時の私は、目の前に浮上した問題だけを必死に解決しようとしており、師長の役割を理解していなかったのである。本書に記されているように、師長の役割は、業務

目標達成とチームワークの強化、そして人材育成の3つであり、これらを常に意識したマネジメントが重要なのである。

次に、Ⅱ部の「マネジメントの基礎」では、スタッフに対する関わり方、理念の実現、組織論、成果に関することなどマネジメントの基礎知識について記されている。特にスタッフに対する関わりは、師長が頭を悩ますことの1つである。スタッフは、やる気のある人、そうでない人などさまざまで、1人ひとりへの関わり方も異なる。

本書では、そうしたスタッフのタイプに応じたやる気の引き出し方を紹介している。師長がスタッフのやる気を引き出すことは、スタッフの成長や、組織の活性化につながる。

リーダーシップを
看護の成果につなげる

最後にⅢ部の「リーダーシップの基礎」では、師長がリーダーシップを発揮する目的として、「部署の目標を達成すること」と「よりよい人間関係を維持すること」が挙げられている。師長がリーダーシップを発揮するか否かは組織に大きな影響を与える。しかし、リーダーシップはすぐに発揮できるものではなく、それに関する知識を得て行動する必要がある。そして、リーダーシップを発揮することが最終的には看護の成果につながるのを確信し、日々の業務に取り組んでいくことが重要である。

本書は、このようにコンパクトにまとめられているだけでなく、よく遭遇する事例と実践のポイントも書かれていて、「なるほど……」と思わせる内容のため、院内の看護管理者研修会にも活用できるものである。

今年のクリスマスには、本書を看護部長から当院の新任師長2人へ贈り、看護の成果を出していきたいと思う。